

# 金融機関による 「沖縄力 発見ツアー2013」 を実施



木川社長によるプレゼン風景



槌谷前局長によるプレゼン風景

内閣府は、平成25年6月9日（日）～6月10日（月）、県外の主要金融機関の方々に沖縄のポテン

シャル（沖縄力）

や特区等のビジネス環境を見ていただく、沖縄力発見ツアーを実施しました。ツアーでは、単なる視察だけではなく、すでに沖縄に進出している企業から生の声をお聞きいただき、これからの沖縄への投資促進や新たな産業の創出・振興について、地元

の産業界・金融界



冒頭挨拶する島尻政務官



ワーキングディナーにおける意見交換

との意見交換もしていただきました。

## ワーキング・ディナー

沖縄力発見ツアーの初日（9日（日））は、県外から参加された18社の幹部の方々と、島尻内閣府大臣政務官、仲井眞沖縄県知事、県内経済界関係



那覇空港新貨物ターミナルビル視察

者の方々との間でワーキングデイナーを実施しました。

ワーキングデイナーの冒頭、島尻政務官から、「本ツアアを契機として、我が国の主要金融機関と沖縄県の産業界・金融

界とが互いに力を合わせ、投資促進や新たな産業の創出・振興など、沖縄経済のますますの発展に取り組んでいただけますよう祈念します。」と挨拶がありました。

また、意見交換に先立って、樋谷前沖縄総合事務局長から「沖縄の経済特区」について、木川ヤマトホールディングス株式会社代表取締役社長から、「国際物流特区で展開されるニュービジネス」について御説明いただきました。

## 視察

翌日は、沖縄の国際交流拠点、科学技術拠点として整備が進められている那覇港物流施設予定地（物流特区）、沖縄科学技術大学院大学、うるま市

国際物流特区内施設・企業、那覇空港新貨物ターミナルビルを視察され、沖縄力を発見していただきました。

## 国際物流特区進出企業とのディスカッション



うるま市国際物流特区内施設・企業視察



OIST での説明風景

うるま市国

際物流特区においては、進出企業と特区進出のメリット・デメリット、県内における人材等について活発に意見交換していただきました。

進出企業からは、「当初、東南アジアに進出することにも検討したが、沖縄進出後、東南アジアでの大洪水や円安、カン

トリーリスクの顕在化などがあり、これらのリスクが回避できた。」「アジアに近い沖縄は立地がよく、納期の短縮につながっている。」などの話がありました。

## 結びに

ツアー参加者からは、「沖縄の地理的優位性について再確認できた。」「物流に大変なポテンシャルがあると感じた。」「長寿や健康関連産業に興味を持った。」「我が国企業はアジア各国に海外展開する流れがあるが、その選択肢として沖縄があることが分かった。アジア各国との比較、沖縄の強みや弱点の克服方法についての情報発信が必要では。」といった意見がありました。

内閣府では、今回の沖縄力発見ツアーで頂いた様々な方々のアドバイス、お声を今後の取組にかしていきたいと考えています。



国際物流特区進出企業とのディスカッション